

ミッションクリティカル利用 - 資産継承

仮想化ソフトウェアを活用した既存環境の継承

お客様の課題

- サーバ更改に伴うHW/OS/ミドルウェアの入れ替えおよび業務資産の修正コストが発生
- 仮想化ソフトウェアの品質担保

提案ポイントの詳細

既存資産の継続利用

- ・ 仮想化ソフトウェアを採用し、ハードウェアとOSバージョンの紐付けを切り離すことで、仮想環境上でOS/ミドルウェア/アプリケーションを続けて利用

KVMの採用

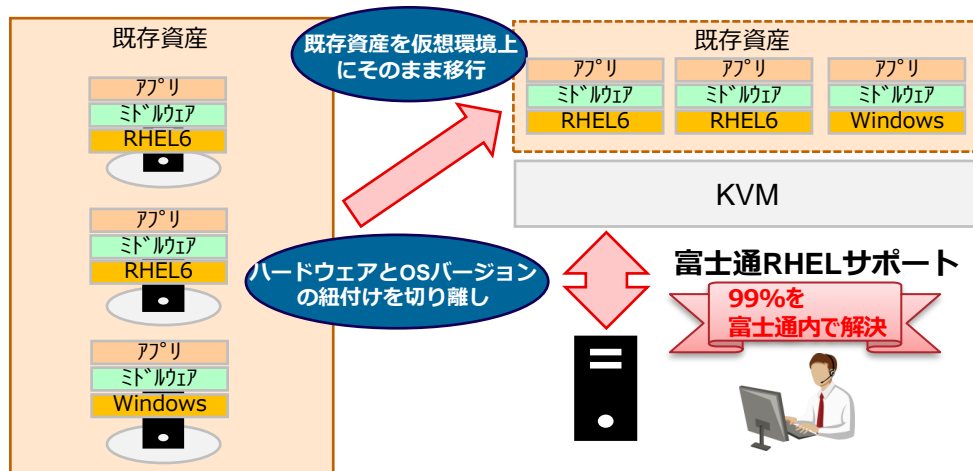
- ・ 仮想化ソフトウェアであるKVM*1はLinuxカーネルに標準搭載されており、富士通RHELサポートを採用することで、サポート品質を担保

*1 <https://www.fujitsu.com/jp/products/software/os/linux/featurestory/kvm/index.html>

提案ポイント

- 仮想化ソフトウェアを採用し、**既存資産を継続利用**
- 仮想化ソフトウェアにオープンソースである**KVMを採用**

導入効果



- 富士通のLinuxソリューションや、Linux製品についてのお問い合わせは、下記お問い合わせページよりご依頼ください。

Linux情報へのお問い合わせ

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/os/linux/contact/>